

## VI 公害の苦情

本市では、公害に関する苦情に対して環境保全課等職員が対応にあたり、発生源に対する適切な指導に努めるとともに、快適な生活環境の保全に努めている。

令和元年度の苦情件数は 433 件で、悪臭が 211 件と最も多く、次いで騒音が 126 件、水質汚濁が 57 件、大気汚染が 24 件となっている。

過去 10 年間の公害苦情件数の推移は表 3-6-1、図 3-6-1 のとおりである。

表 3-6-1 過去 10 年間の公害苦情件数の推移

年度	典型7公害							その他	計
	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭		
H22	43	54	0	112	5	1	117	11	343
H23	55	41	0	93	3	0	172	11	375
H24	37	40	0	106	6	0	171	3	363
H25	25	80	0	96	8	0	189	12	410
H26	23	60	0	112	8	0	172	17	392
H27	17	63	0	110	5	0	210	25	430
H28	30	66	0	123	9	0	190	18	436
H29	22	63	0	118	13	0	208	17	441
H30	25	78	0	139	12	0	219	12	485
R1	24	57	0	126	4	0	211	11	433
H30 全国	14,481	5,841	168	15,665	1,931	27	9,543	19,147	66,803

※平成 30 年度の全国件数のうち「その他」は、廃棄物投棄及びその他（日照不足、痛風妨害、光害、テレビ・ラジオ等の受信妨害や違法電波等）に関する苦情を含む。

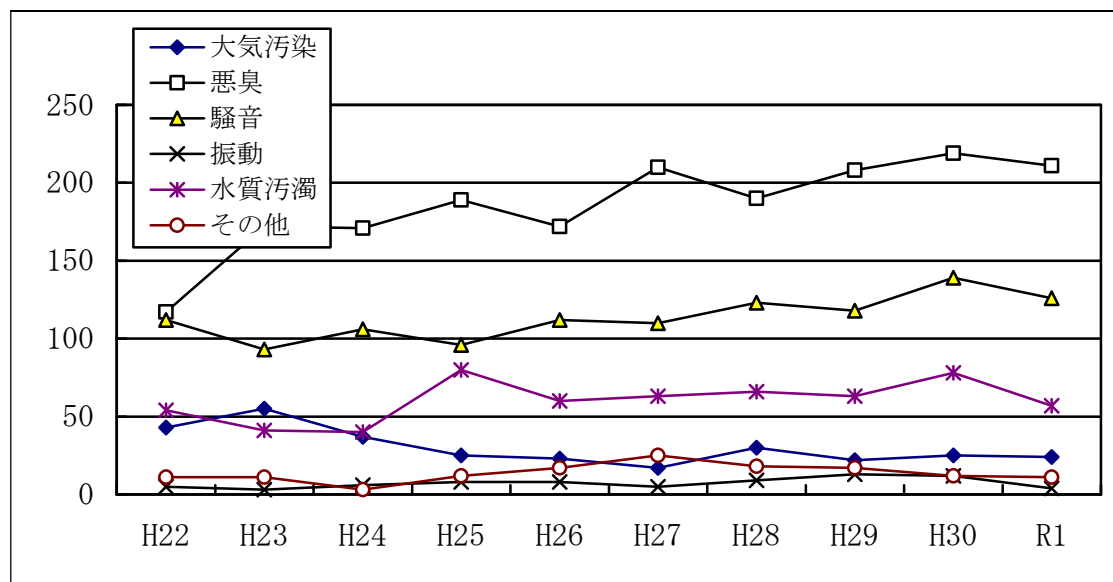


図 3-6-1 過去 10 年間の公害苦情件数の推移

※「土壌汚染」及び「地盤沈下」は苦情件数が少ないため、表示していない。